

スイカ 西瓜

ウリ科

参考文献
 一般社団法人果種協・国立研究開発法人農研機構・国立研究開発法人JIRCAS(監修)(2017),
 図説果物の大図鑑, 株式会社マイナビ出版/三輪正幸(2012), からだに美味しいフルーツの便利帳, 高橋書店 他

○多摩青果の主な入荷情報

	色の基準											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産地												
秋田												
山形												
茨城												
群馬												
千葉												
神奈川												
新潟												
長野												
愛知												
鳥取												
熊本												

○月別情報

- 3月：熊本の大玉西瓜を筆頭に、茨城・群馬・熊本の小玉西瓜が入荷
- 4～6月：春から初夏のメイン産地である茨城・群馬・熊本の入荷が増え、6月には鳥取がスタートするとともに最盛期に
- 7～8月：冷涼産地の秋田・山形・長野が始まり、入荷が増加
- 9月：上旬にはほぼ入荷が終了する
- 10～12月：抑制栽培のものがわずかに入荷する

○ブランド西瓜と産地情報

北海道から九州まで、産地を冠したブランドが多くある。

出回り時期は南から北へと移っていく。

秋田：「あきた夏丸」シリーズ

果肉はややかためでシャリ感が強く、みずみずしい

山形：「尾花沢すいか」

真夏に収穫期を迎える。強い甘味とシャリ感がある。

昼夜の寒暖差が大きい盆地で、糖度の高い西瓜が育つ。

茨城：「紅の誘惑」

小玉西瓜のブランド。出荷前に農協職員が試し割りを行う。

食味・糖度検査などを行い、厳選。

千葉：「富里スイカ」

栽培開始から約4年で皇室献上品となり、一躍有名に。

昼夜の寒暖差と、火山灰土壌の関東ローム層が生育に最適。

長野：「松本ハイランドすいか」

信州の高原ならではの澄んだ空気と昼夜の大きな寒暖差

豊富な日照量から生まれた。焼岳の火山灰土で生育。

鳥取：「大栄西瓜」

明治時代から栽培。地理的表示保護制度に登録。

4～6月に日照時間が長く、玉サイズに比例し外皮が厚い。

熊本：「夢大地かもと」

J A 鹿本の統一ブランドで、ハウス栽培がメイン。

1株1玉に制限し、高品質な西瓜を生産。

発行：東京多摩青果株式会社 営業開発部開発課

※2019年現在の多摩青果における各産地の情報とおおよその入荷時期です。気象条件等で実際の入荷状況は異なる場合があります。

スイカ 西瓜

ウリ科

【大玉】

5～7kgほどの大きさの一般的な西瓜。サイコロ状のカット西瓜としての販売が多くなったため、色鮮やかでくずれにくい品種が増えている。

まつり
祭ばやし
しま
濃緑に黒い縞が美しいシリーズ。

果肉は緻密でシャリとした食感。

ふじひかり
富士光
明るい紅色の果肉がきれいなシリーズ。

甘味たっぷりで食味がよい。



【小玉】

冷蔵庫に1玉まるごと入れられるように作られた。大玉西瓜に比べるとシャリ感は弱めだが、皮が薄く、糖度は高め。

ひとりじめ

高糖度で、大玉に近いシャリ感が味わえる。

ひめかんせん
姫甘泉

果皮がかたく、栽培中に割れにくい。

縞が太く鮮明で、種が少ない。皮際まで甘くシャリ感も良い。

スウィートキッズ

楕円に近い形が特徴。ジューシーで、糖度が高い。

果肉がしまっているため、シャリ感も良好。



【その他】

クリーム西瓜

果肉が黄色く、大玉・小玉ともに品種がある。昨今では糖度の低さが改良され、味や食感などは赤肉と大差がなくなっている。

彩りがよいためカットフルーツにも人気。

黒皮西瓜

縞がほとんど見えない、果皮が黒に近い暗緑色で大玉・小玉ともに品種がある。

黒皮は古くからあったが、見た目のインパクトや高級感からか、近年よく出回るようになった。

種なし西瓜

昭和20年代に開発され、昭和30年代に盛んにつくられていた。カットフルーツの販売が多くなった近年、また需要が高まり、品種も増えている。



○西瓜の選び方と保存方法

選び方		縞模様のはっきりしていて、ハリツヤのあるもの
保存	生	冷蔵庫の野菜室で保存。カットしていなければ風通しのよい場所で常温保存。
	冷凍	食味が悪くなるので、シャーベットやジュースなどでの利用向き